

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
410007	XY2410007	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
情報処理演習 C 2 ②	林 貴宏			情報文化学部情報システム学科経営コース (26 年度以降)	専門	選択必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (26 年度以降)	専門	選択必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科経営コース (25 年度)	専門	選択必修	1 年
				情報文化学部情報システム学科情報コース (25 年度)	専門	選択必修	1 年
		情報文化学部情報システム学科 (24 年度以前)	専門	選択必修	1 年		
授業目的							
コンピュータを使用して情報処理の問題を解決するために必要なプログラミング技術を C 言語により学習する。 情報処理演習 C1 の続きとして、関数、ポインタ、構造体、ファイル処理を使用したプログラミングの応用方法を学習する。							
各回毎の授業内容							
第 1 回				第 9 回			
【授】全般的な C1 の復習				【授】構造体使用の基礎			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 2 回				第 1 0 回			
【授】配列に関する C1 の復習				【授】構造体使用の応用			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 3 回				第 1 1 回			
【授】関数使用の基礎				【授】ファイル処理使用の基礎			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 4 回				第 1 2 回			
【授】関数使用の応用				【授】ファイル処理使用の応用			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 5 回				第 1 3 回			
【授】ポインタ使用の基礎				【授】応用問題 1			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 6 回				第 1 4 回			
【授】ポインタと配列の使用				【授】応用問題 2			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 7 回				第 1 5 回			
【授】ポインタと文字列の使用				【授】まとめ、テスト			
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習				【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習			
第 8 回				第 1 6 回			
【授】ポインタと関数の使用							
【前・後】予習復習に 4 時間：教科書等による予習／演習課題などの復習							
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合 (%)
定期試験	15	10	5				30
小テスト・授業内レポート	10	10					20
宿題・授業外レポート	10	10					20
授業態度・授業への参加	10	10	10				30
成果発表 (口頭・実技)							
演習							
その他							
各回演習と小テストの標準解 (プログラム例) を示し、プログラミング課題の平均点を示してフィードバックする。							
教科書参考書							
・教科書「新版 明解 C 言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ ISBN: 978-4797327922							
・参考文献はその都度紹介する。							
受講に当たっての留意事項							
・情報処理演習 C1 を履修し、C 言語の基礎について理解しておくことが望ましい。							
・情報センター利用規則を守ること。							
学習到達目標							
C 言語プログラミングに関する全般的な知識を理解し学習することにより、さまざまな問題の解析を行うことができ (演習 10%・レポート 10%・テスト 15%)、プログラム作成やデバッグができるようになる (演習 40%・レポート 10%・テスト 15%)。							
JABEE							
関連する学習・教育到達目標 : C, D							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習